

- ◆お名前/ご所属：東野琢也（ヒガシノタケヤ）先生/国立がん研究センター東病院形成外科
- ◆研究テーマ：頭頸部がん放射線治療後の晩期頸部皮膚軟部組織障害に対する支持療法としての脂肪注入術の有用性に関する研究
- ◆助成金額：100万円

1：研究者になろうとしたきっかけ

私自身は形成外科的な再建手術を提供することでがん治療に関わっています。形成外科医としてがん治療に貢献できること、がん経験後の社会復帰、生活の質（QOL）向上のお手伝いができることに魅力を感じており、再建外科治療の標準化やエビデンスの構築、新しい治療の開発を通してがん医療に貢献したいと考えるようになりがん研究に進みました。

2：助成研究の内容紹介

がんの放射線治療後に皮膚の硬さや動かしにくさでQOLが著しく低下することがあります。症状の程度などわかっていないことが多く、また、良い治療法は確立されていません。近年、脂肪注入術が放射線性組織障害に対して有用である可能性が報告されています。本研究では頭頸部がん放射線治療後の晩期頸部皮膚軟部組織障害に焦点をあてたQOLの質問紙調査を行い、その結果を新しい治療の開発につなげたいと考えています。

3：2の将来に繋がる結果予想・目標

がん患者さんのニーズを拾い上げて、放射線治療後の晩期皮膚軟部組織障害に対する支持療法としての脂肪注入術の提供につなげたいと考えています。

4：全国のRFL関係者に一言メッセージ

研究成果を患者さんに届けられるように尽力いたします。